



フルカラー成人版

# マリンズブルーム

第一巻

著者 ルネコミック  
出版社 ルネコミック



工藤さやか



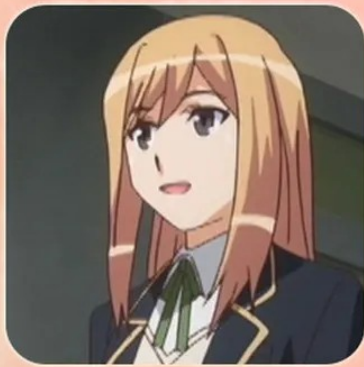
浅尾雅晴



金子隆次



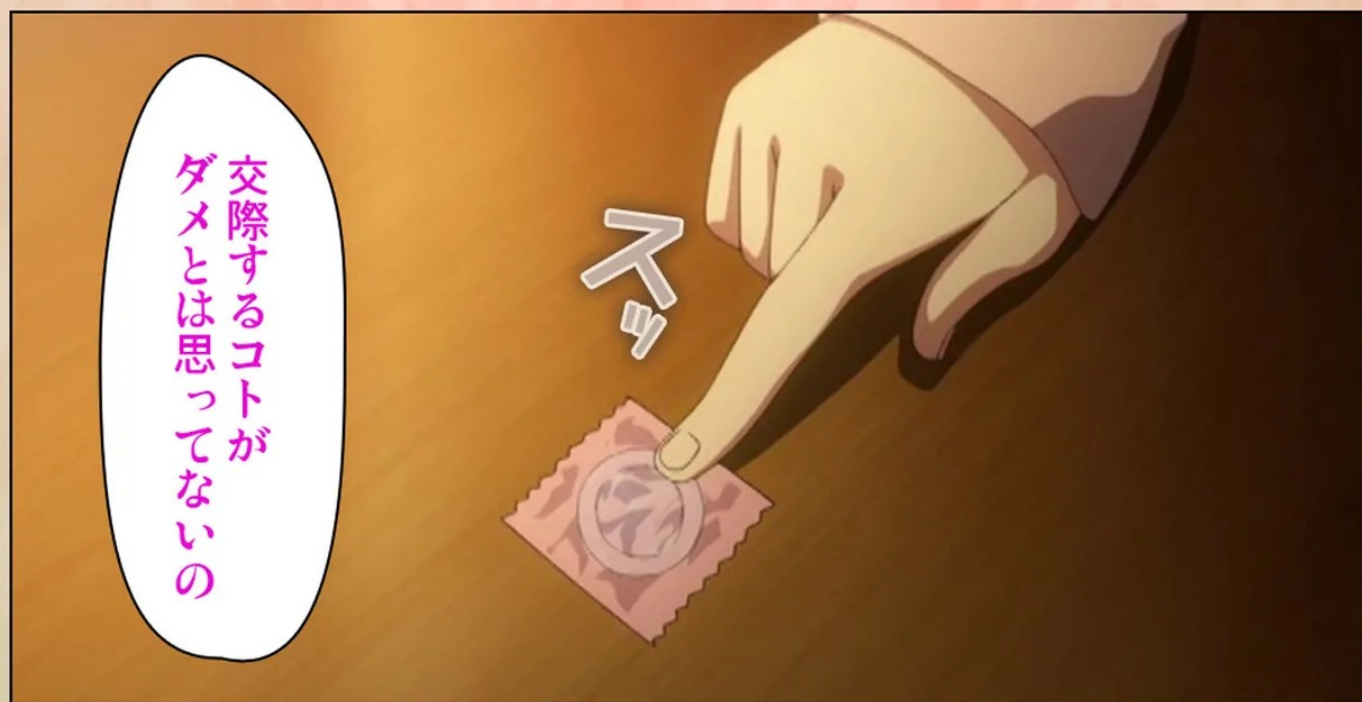
浅尾美里



女子生徒



先生はね…



交際するコトが  
ダメとは思ってないの



ただこーういうコトは

チラッ









学生らしく節度を守って  
おつきあいするよう  
いいわね？



とにかくこれは  
先生が預かって  
おくから

スッ



ガタン











ひょっとして  
俺とするの  
よくない？



経験とか  
多い方じゃ  
ないし…

そ…そんなことない



雅晴には触られる  
だけで…

その…キモチよく…  
なっちゃおうし…



ならいっせいで



できちゃった  
結婚とかは嫌なの…



わかってる



そういうのはちゃんと  
式が済んでから…  
ね?

ニコッ



ぼん

わたしだって  
ホントは…

早く欲しいのよ…  
雅晴の赤ちゃん











キーン  
キーン

というかドレスの方が  
霞んで見えるよ  
工藤さんが着ると

え…



やだもう  
弟の婚約者を  
口説かないでほしいわ







二人の門出を  
祝う式だ  
素晴らしいものに  
してみせるよ

ニッコ




期待してくれ

ニッコ




お任せしますよ

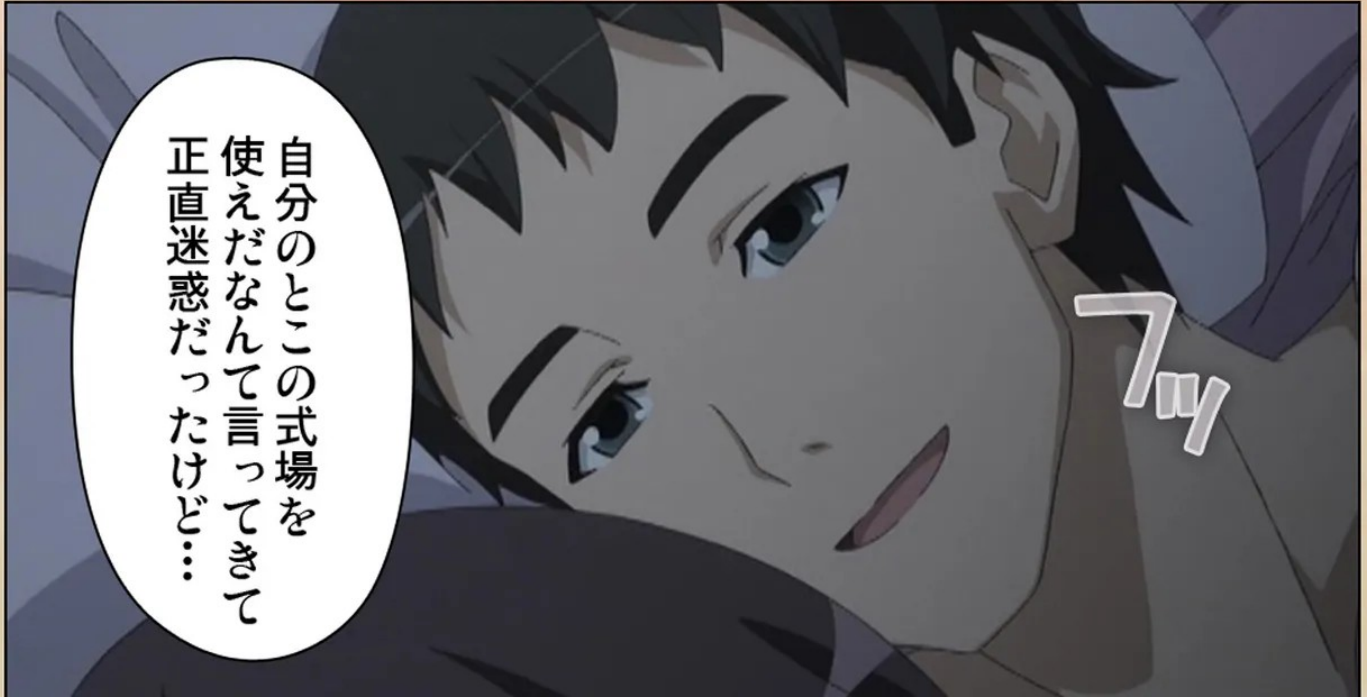
え…はい



式場務めの長い…  
その道のプロって  
感じだったわ  
お義姉さん




女子高生が  
そのまま社会人になっ  
ちゃったみたいなのだ  
なんて雅晴が言うから



自分のとこの式場を  
使えだなんて言ってきた  
正直迷惑だったけど…


フム



まさか金子先輩も  
いるところだったとは



ね？



あれだけきっぱり  
言い切られると  
期待しちゃうよ



よく覚えてないけど……



昔から自信満々な  
人じゃなかった  
かしら？



成績優秀で二枚目…  
後輩たちの面倒見もいい  
頼れる先輩

覚えてないって  
ことはないだろ？



わたしは雅晴しか  
覚えてなかったから

ドキッ



今までも  
これからも…ね







あ〜ん



ああん…



だらしないぞ…



美里

ニッコウ



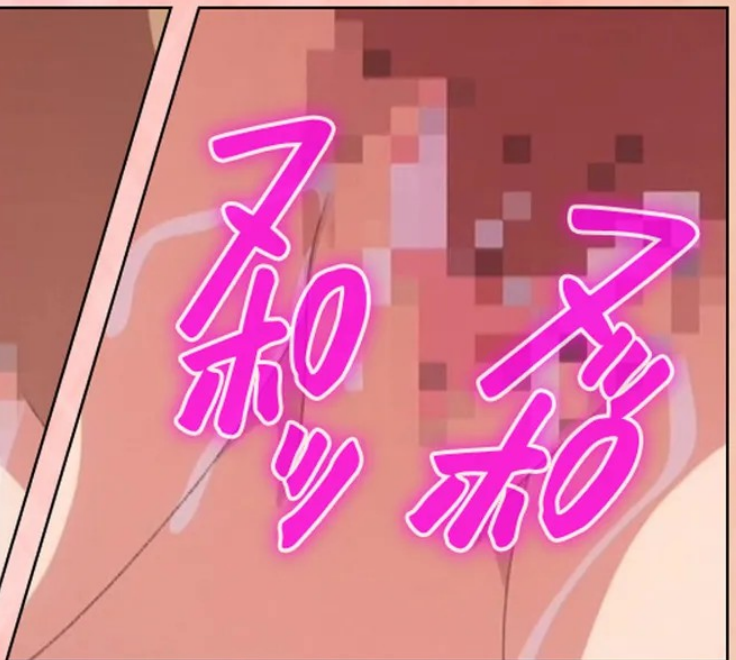
あぁん...  
し...仕事は...



きちんやう...  
んんっ...わがわがわが...

スチヤッ

スチヤッ











ホントつまらないわ

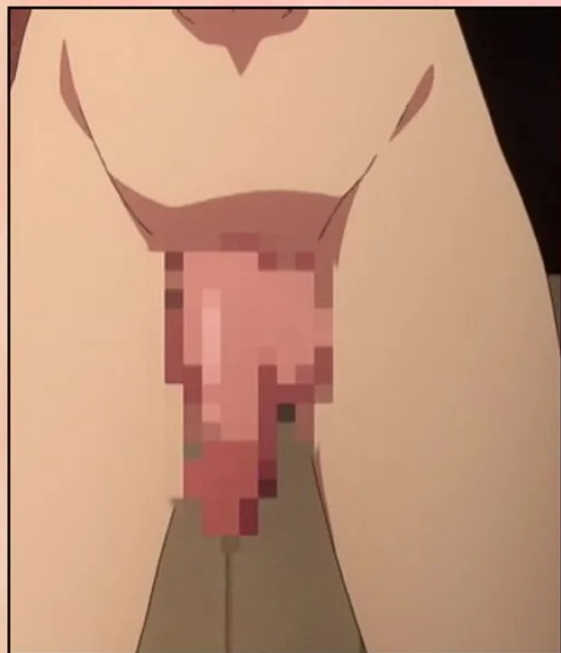


学校の先生だって  
言ってたけど  
あのさやかかって娘...

下着も白の  
上下揃いのとか  
イマドキって  
感じだし









ん...んん...

トク  
トク



んん...ん...

フク  
フク



んん...んん...

フク  
フク





ムンブシメナー!



チラッ

急な仕事が入っちゃって  
今日も行けそうになくてさ



んもう…  
またそうやって  
わたしに任せっきりで…



イメージ通りに  
ならなくても  
知らないから



絶対埋め合わせ  
するから  
じゃ急ぐからこれで

ヒッ



ハア?



あんもう…  
雅晴のバカ



すみません  
仕事終わらない  
みたいです



そんなコトありませんよ



仕事仕事って…  
さやかさんだって  
お仕事の後で  
疲れてるのにねー



そんなコトありませんよ

スッ



あ…いえ…  
別にそんな

え…なに?  
工藤さん  
疲れてるの?



じゃあ今日は  
このぐらいに  
して息抜きに  
行こうか

うちの式場…  
地下にBARが  
あるんだ



ホントに  
わたし大丈夫です

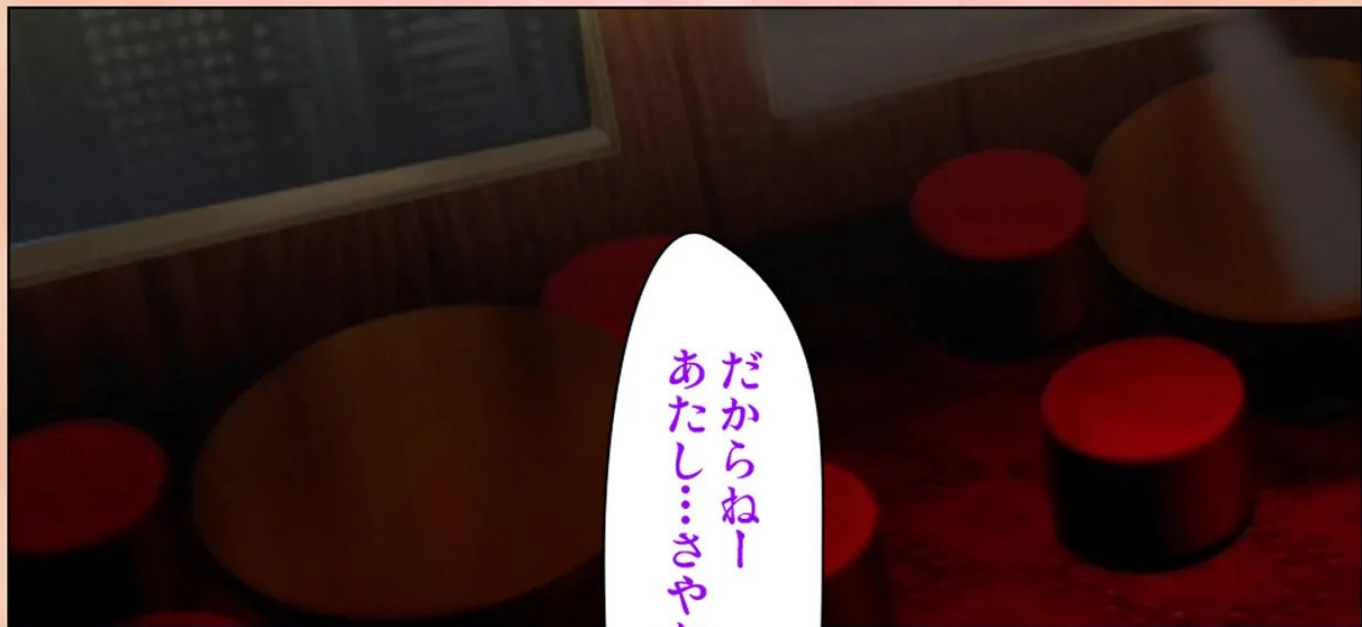
いやだわもう  
さやかさん  
カタすぎい



わたし…固いですか？

えっ？





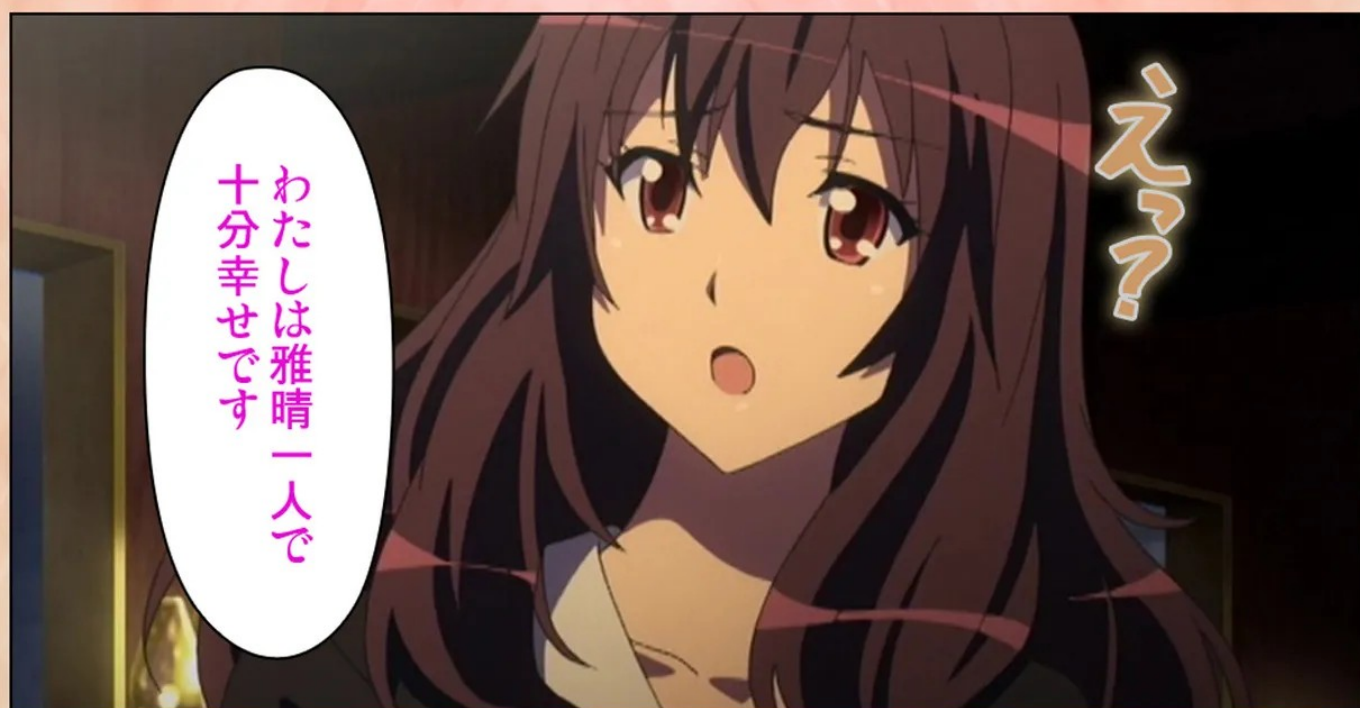
だからねー  
あたし…さやかさんも

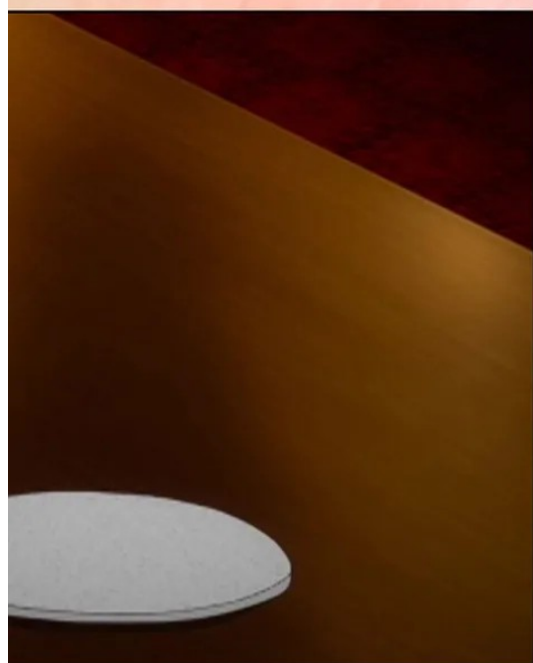


もっといろんな男と  
遊んでみるべきだと  
思うの〜



じゃなきや  
ホントの良きなんて  
わからないでしょ







式場の人間が  
宿直の時とかに  
使ったりしてる  
部屋だから…

大丈夫で  
しょうか？



朝まで寝ても  
大丈夫

すー



あ…そうじゃ  
なくて…



式を挙げて  
そのまま宿泊なんて  
要望もあるからね

ホテル設備も  
整ってるよ



新婚初夜に  
びったりなスイートだって  
あるんだ



ああ…



初夜…ですか





部屋を用意するよ  
少し休んでいくといい

ヨロ



い...いえ...  
大丈夫ですから...  
ああ

ウウ





グチュチュ  
グチュチュ

やあっ…ダメです…  
ああっ…ダメ…ダメエッ!



ユサユサ



ギュッ



ああっ…んんっっ!



ス  
ル  
ッ



!?



ガ  
バ  
ッ

ちゅわんちゅわん……  
ちゅわんちゅわん……  
ちゅわんちゅわん……





疲れと性欲は  
溜め込むと  
よくないってことだ



か…金子先輩！  
嫌です！



心配ないよ  
ちゃんと  
着けたから

ニムニム



そのつもりで  
準備してたんだろ？  
バッグに入ってたよ

ニムニム



ダメッ…  
絶対にダメです



それは違う…  
それは生徒の…ああっ！

ガッ  
ガッ





確かにまだ固いね  
解しておかないと

あんっ



あぁあっ！

嫌っ…



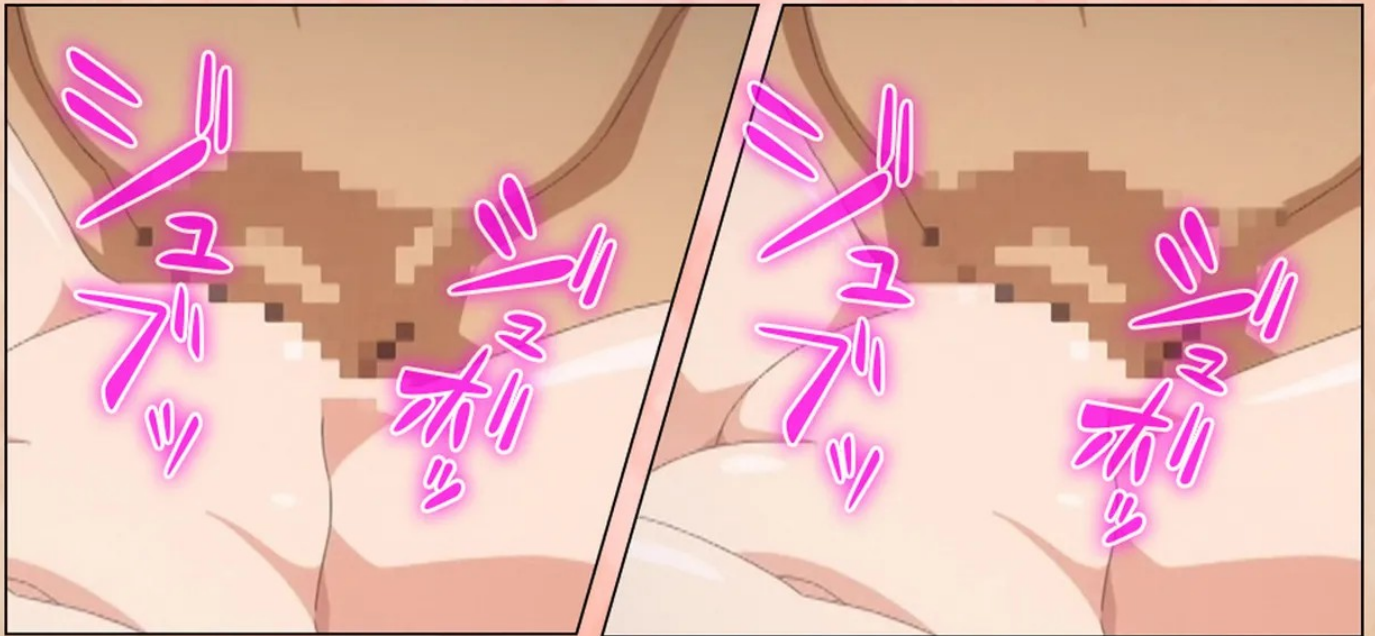
雅晴っ！

あ  
あ



んっ…んっ…んっ…

うっうっ



グ  
ユ  
グ  
ッ

グ  
ユ  
ホ  
リ  
ッ

グ  
ユ  
グ  
ッ

グ  
ユ  
ホ  
リ  
ッ



も…もっいぢ…  
やめじ…くたわじ…

あ  
あ

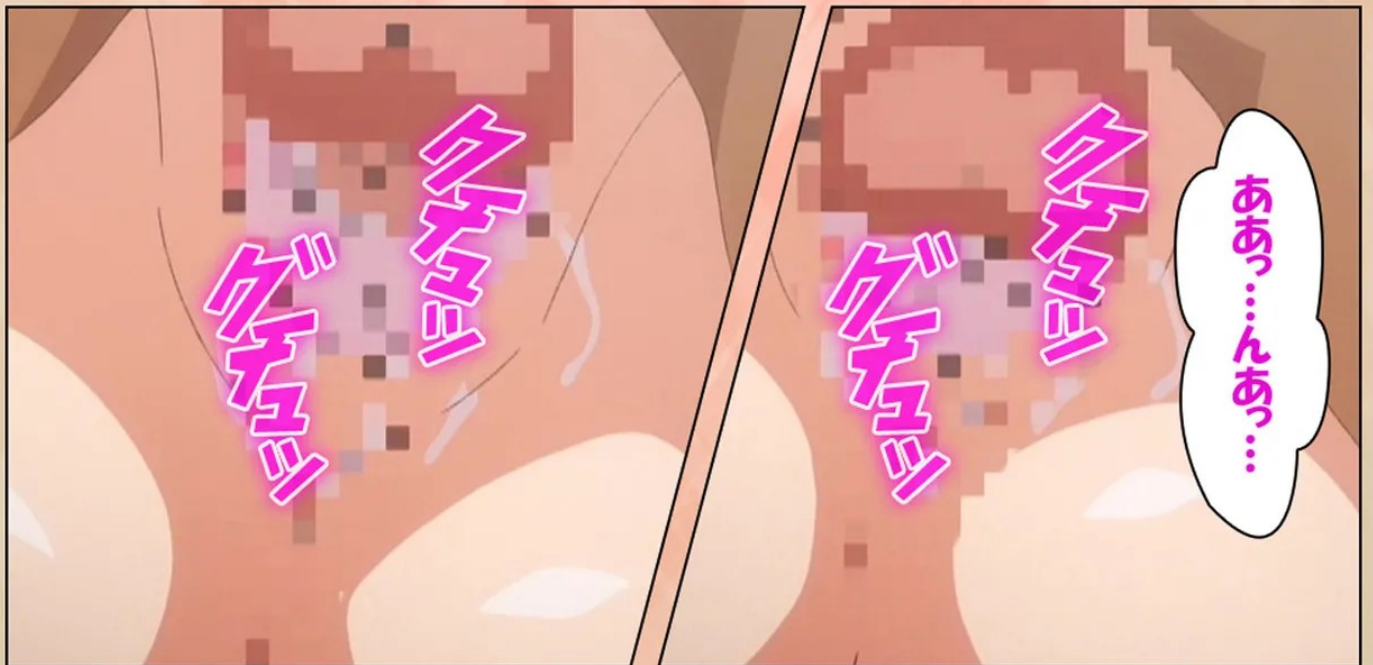


ああ…ああ…

先輩…んっ…



気持ちいいかい？  
今は…ただ僕に  
身を任せれば  
いいんだよ



あ…っ…ん…っ…



ああ……なんぞ……  
せんぱいっ……あっ……

ああ

ああっ……んあっ……  
ふあっ……ダメッ……



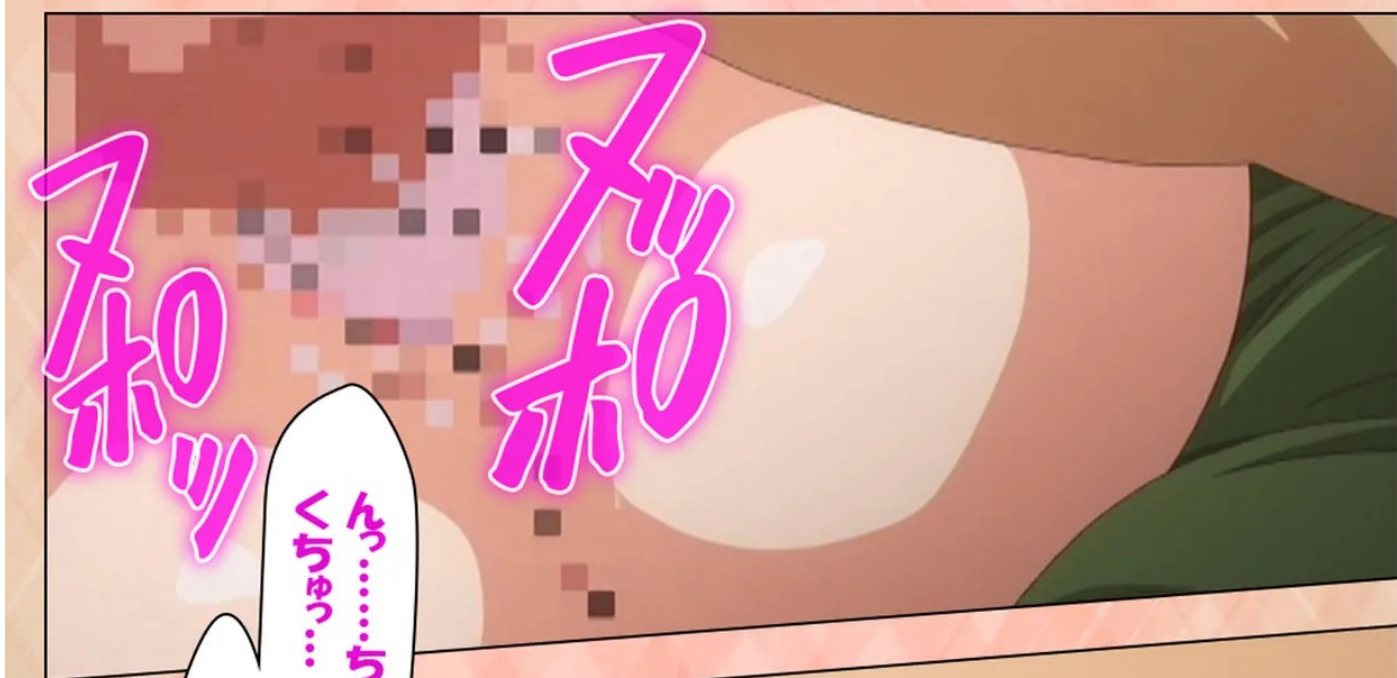
ほら  
大丈夫だから  
もっと感じて

ニヤッ



ああ……やあ……そんなんっ……

ウウウ





何も考えず…  
僕のリズムに  
合わせて



ああ…せんぱいっ…  
ダメッ…

あんっ



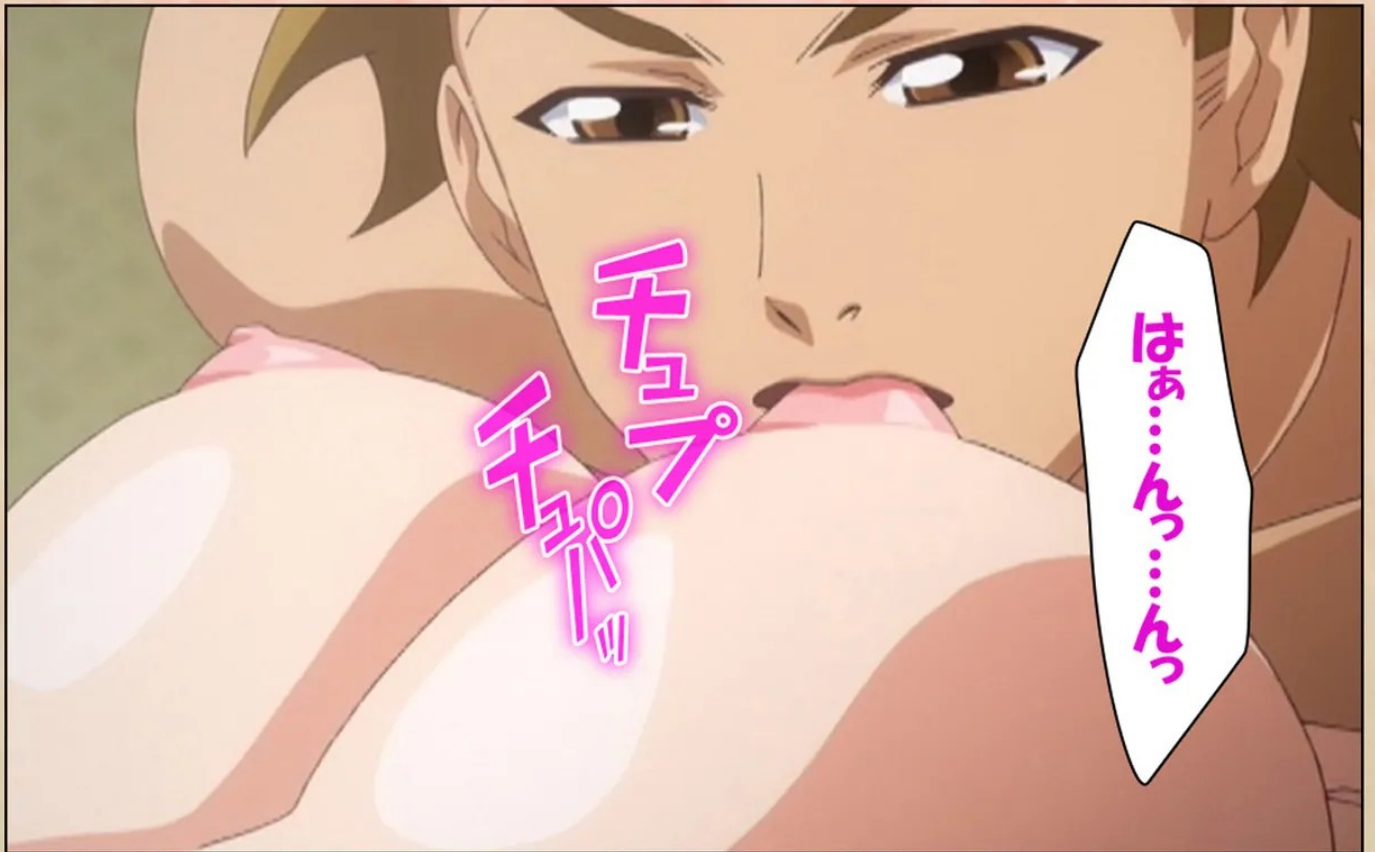
こなな…  
ん…ああっ…  
ああん…ああん

ギョッ



はぁ...  
イヤッ...

カワイイ声だね  
工藤さんキモチイイ?



はぁ...んっ...んっ





ジュジュ

ひゅっ…ひゅっ…  
ふゅっ…ふゅっ…



チュッパ  
チュッパ



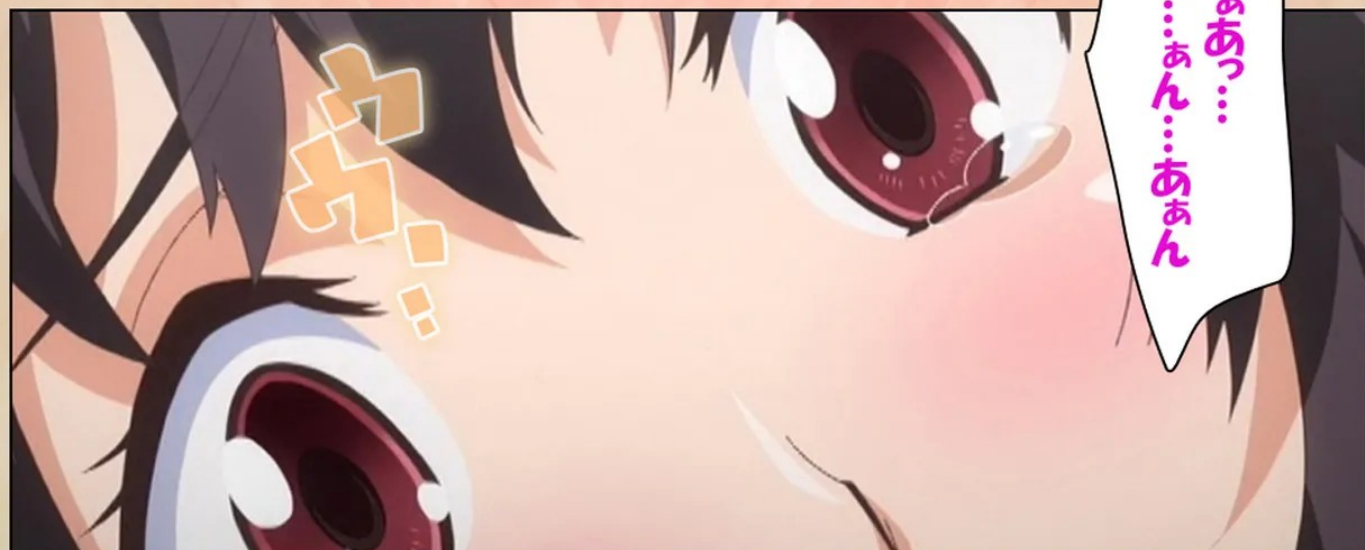
あっ…あんっ…  
あんっ…っ

チュッパ  
チュッパ



はぁ…んっ…んっ

パッパッ  
パッパッ







あん



んっ…んっ



ググ  
ググ  
ググ

あ…あ…あ…  
あ…あ…あ…



んっ  
んっ  
んっ



んっ…んっ…ああ!

ニグニグ  
ユグユグ



やあ…だめっ…  
ああ…んっ…



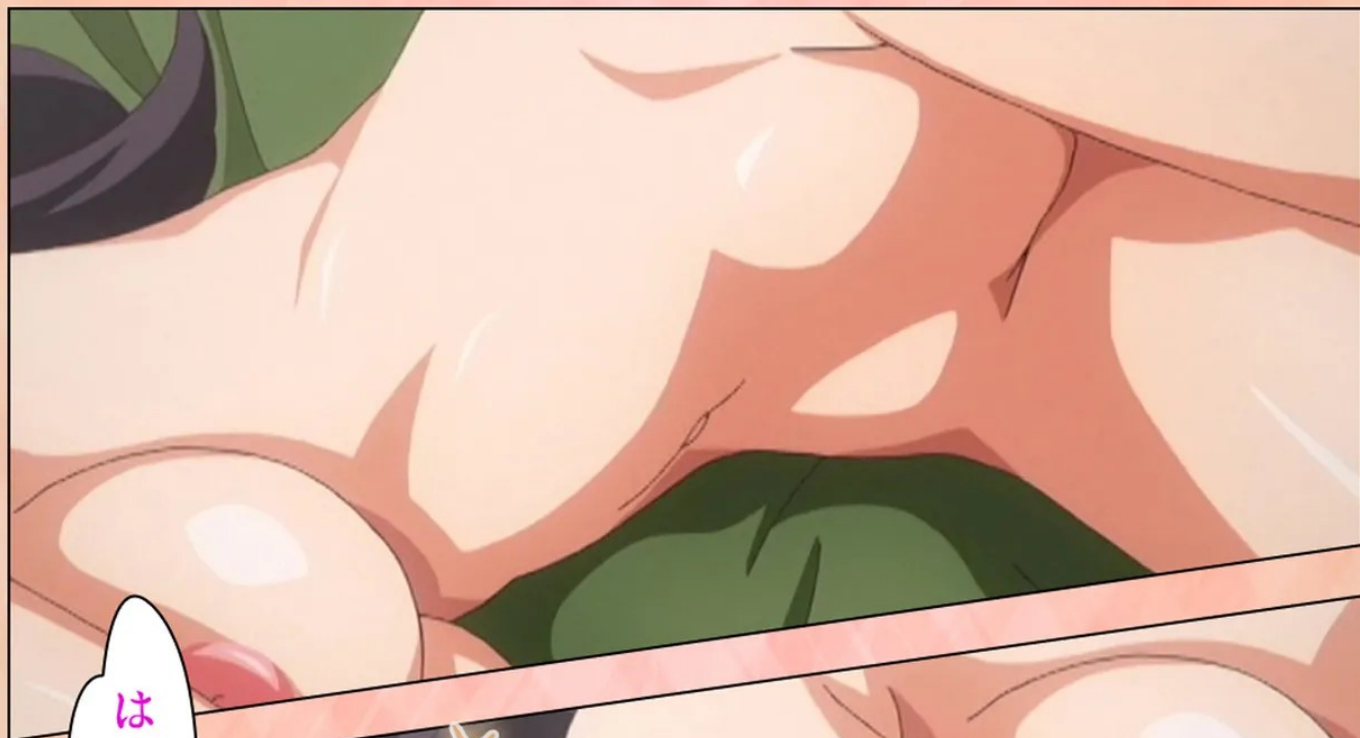
そろそろいくよ?



んんんんんっ!

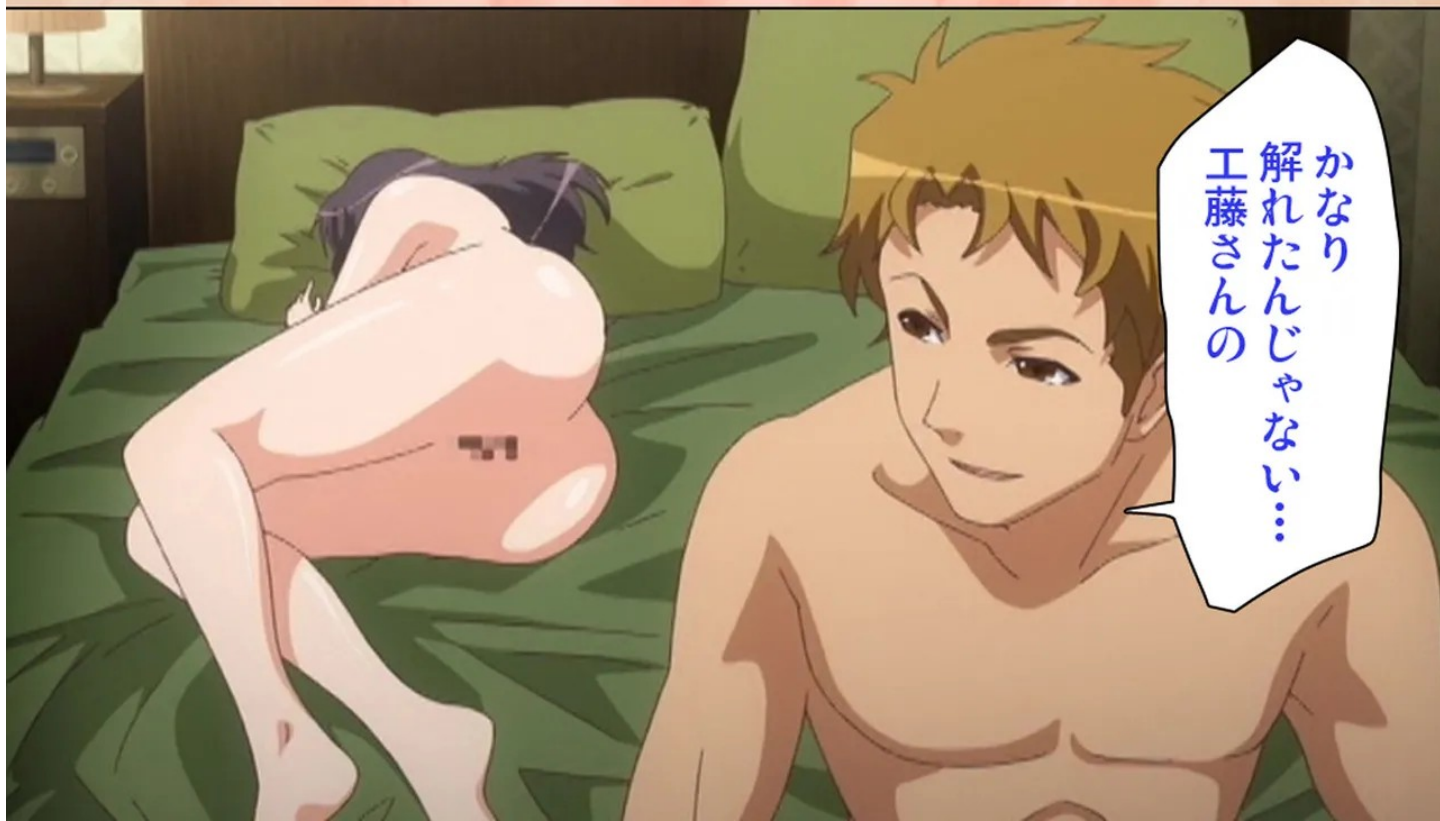
ドド  
ドド

んんん…そんなっ…  
ふあっ…あああ…



はぁ…はぁ…はぁ…

はぁ  
はぁ  
はぁ  
はぁ



かなり  
解れたんじゃない…  
工藤さんの

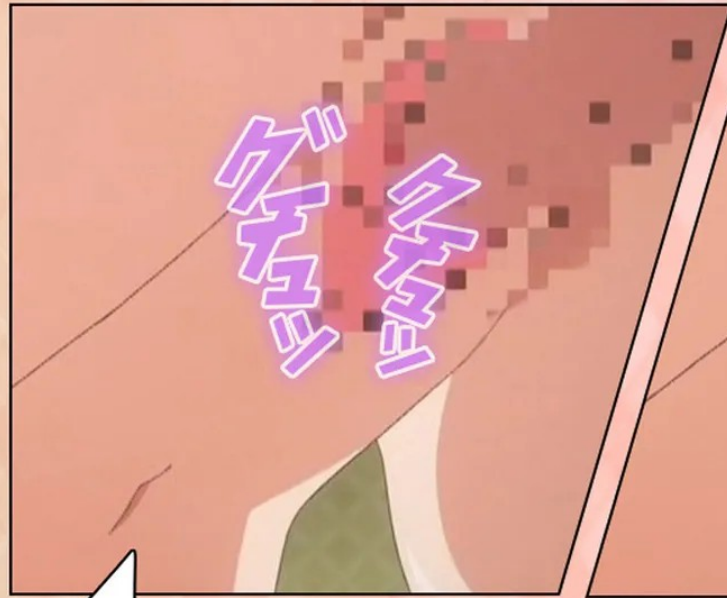




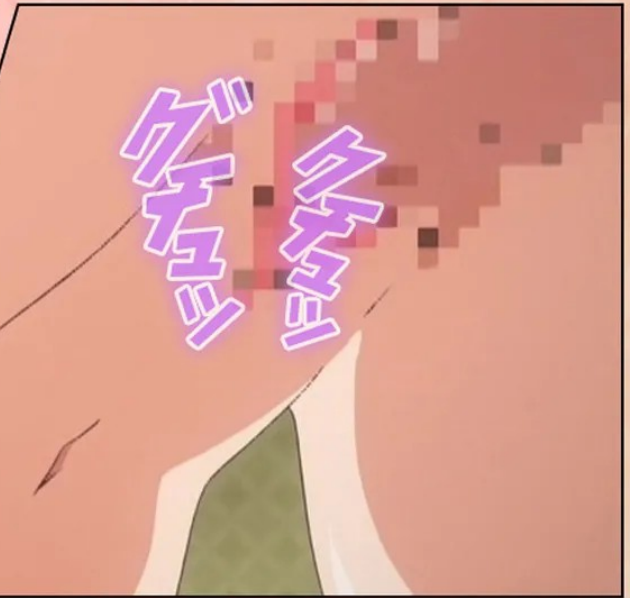
まだまだ  
夜は長いんだ  
気が済むまで  
つきあうよ



え？



グググ  
ククク



グググ  
ククク



あああああ！

あんっ

ズズズズズ！



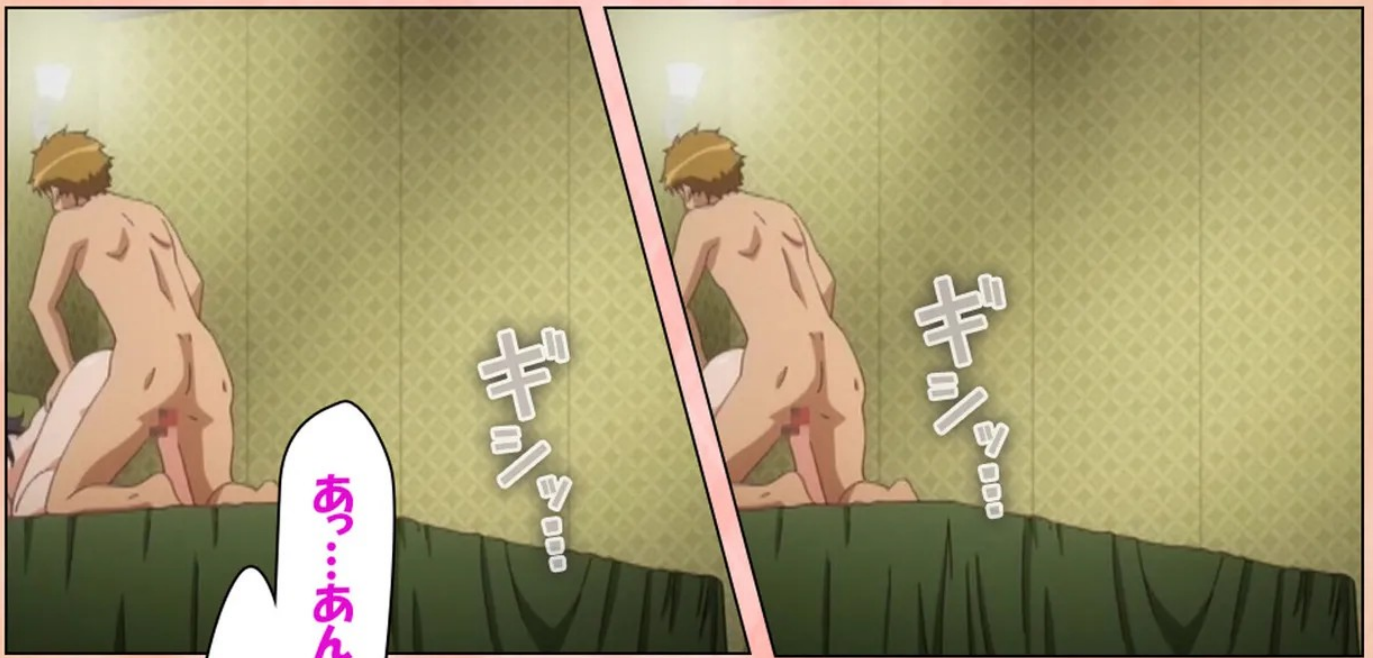


お疲れ様でした！



さやか：  
まだ起きてるかな  
メールでも入れて  
おくか





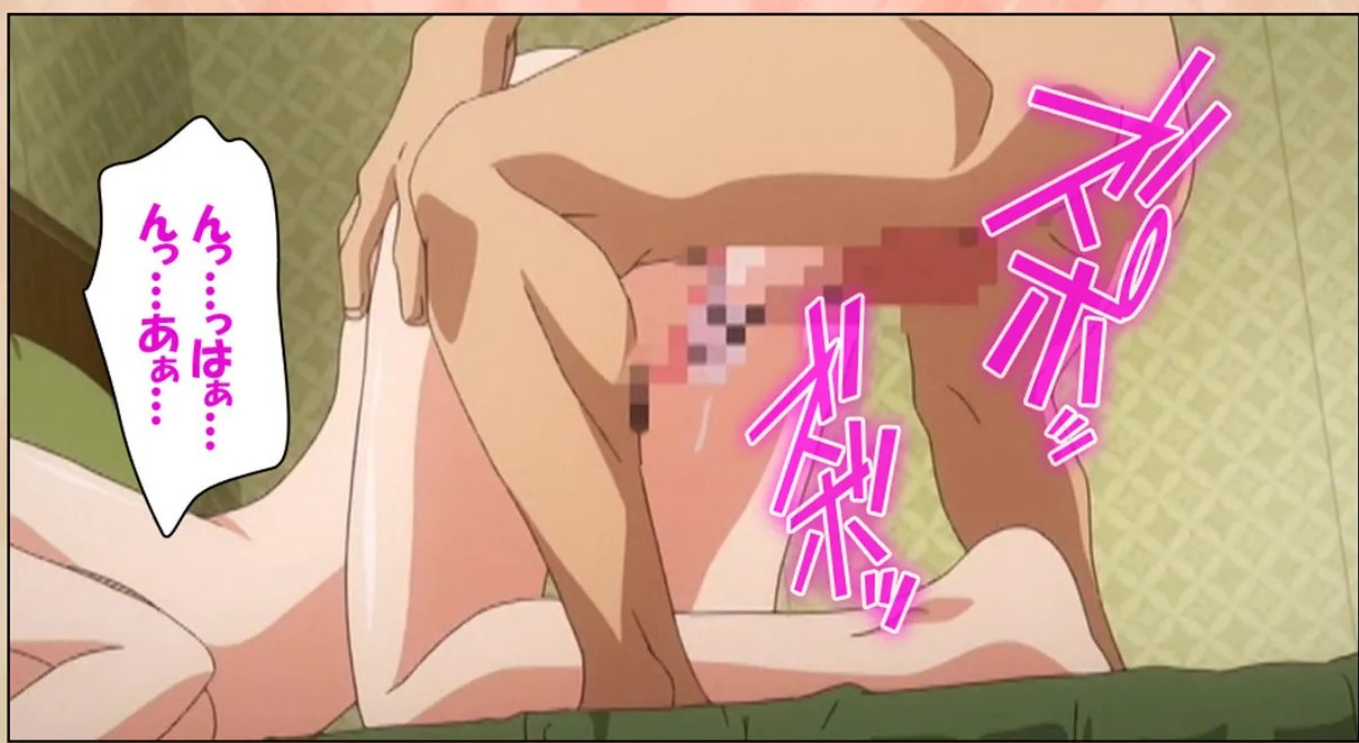


あんっ…っはあ  
…んっ…んっ

ギ  
ニ  
ッ…



工藤さんは  
奥を扱られるのが  
いいみたいだね？



んっ…っはあ…  
んっ…ああ…

ズ  
ボ  
ッ  
ズ  
ボ  
ッ





あんっ

んっ…っはあ…  
んっ…ああ…

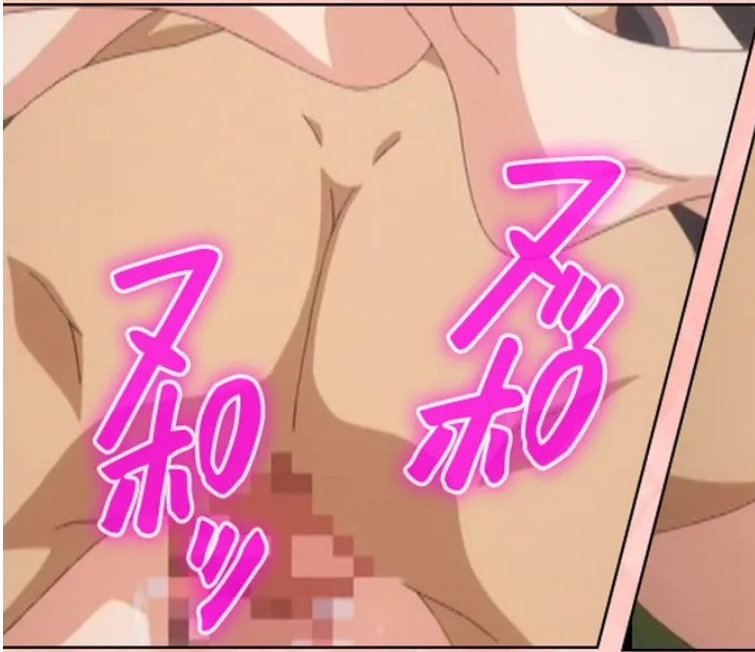
んっあんっ…んっ…んっ

グサグサ

ズズズ

ズズズ







んっ…んっ…  
んっ…んっ…

んっ…んっ…  
んっ…んっ…  
んっ…

んっ…んっ…  
んっ…んっ…



スチャッ

スチュッ



ああ!  
あっ…ああん…んっ…



あんっ



服：昨日と同じだね  
工藤センセ





え?



カレシのトコにお泊り?



わたしも  
なんだよねー  
えへっ

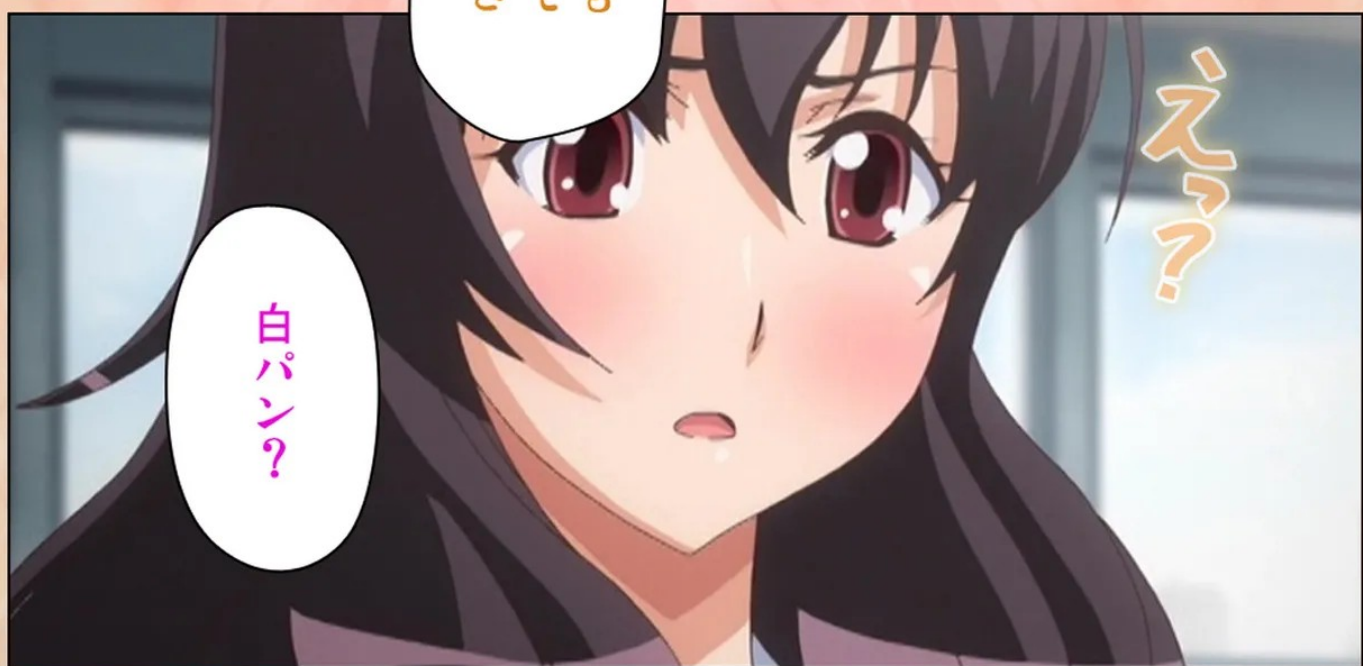


下着も新しいの  
買ってる時間  
なくてさ



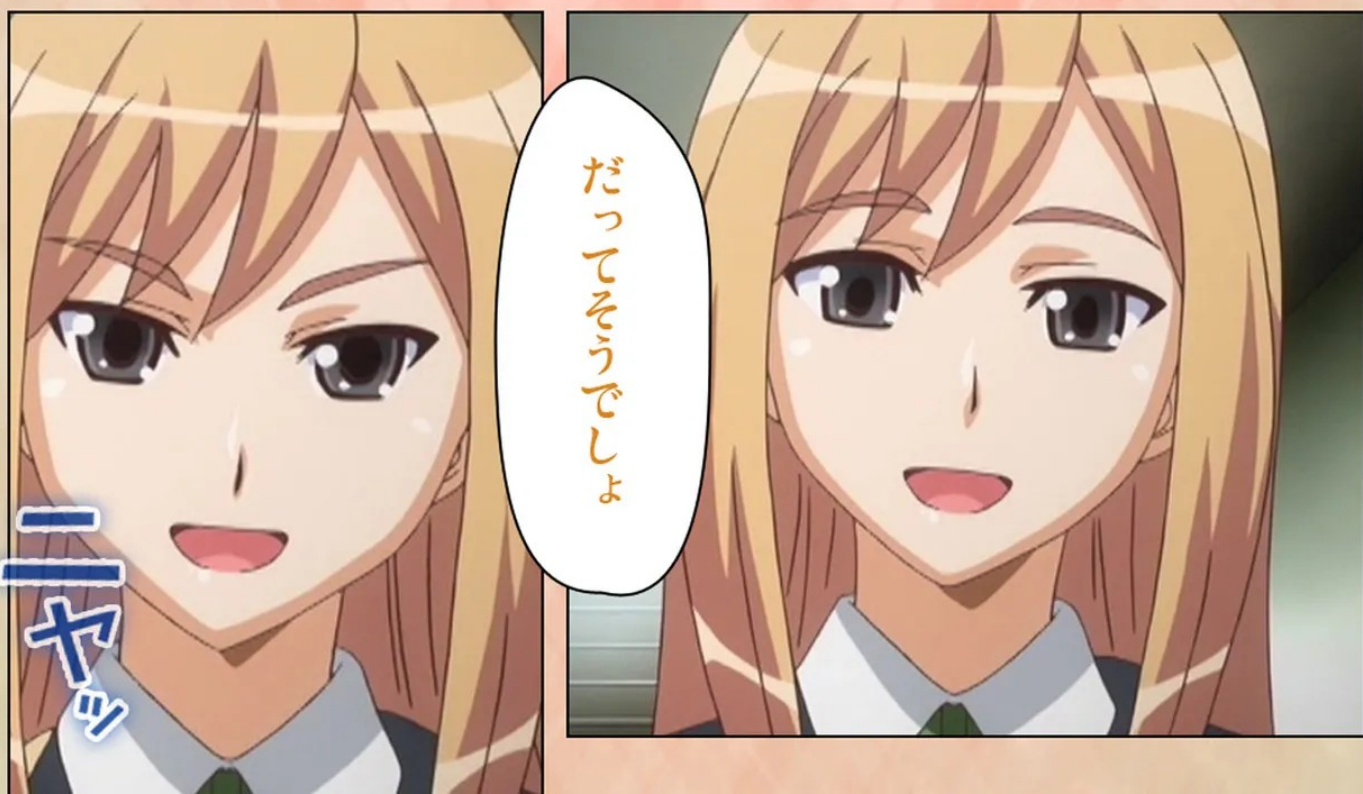
そうだと予備のとか  
持ってたら頂戴

白パンでも  
ガマンして  
穿くからさ



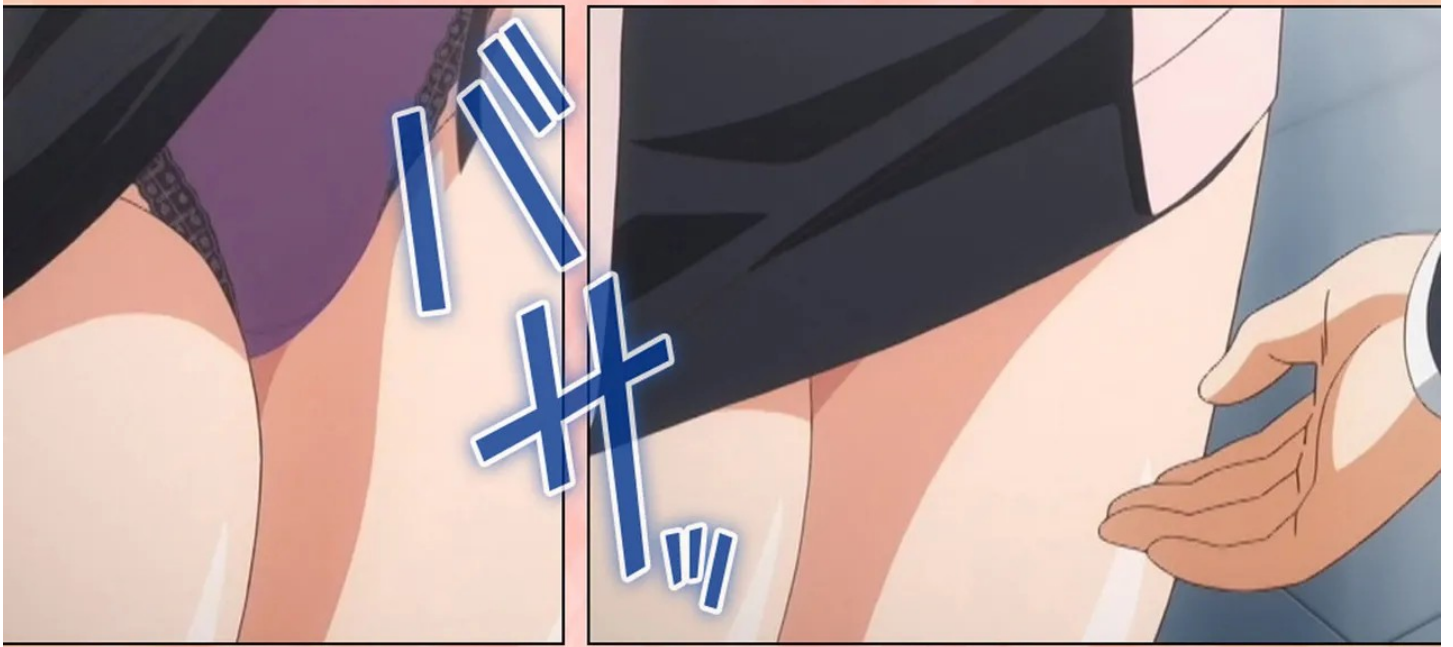
えっ？

白パン？



だってそうでしょ

ニヤニヤ





バツ  
ツ



ちよつと…

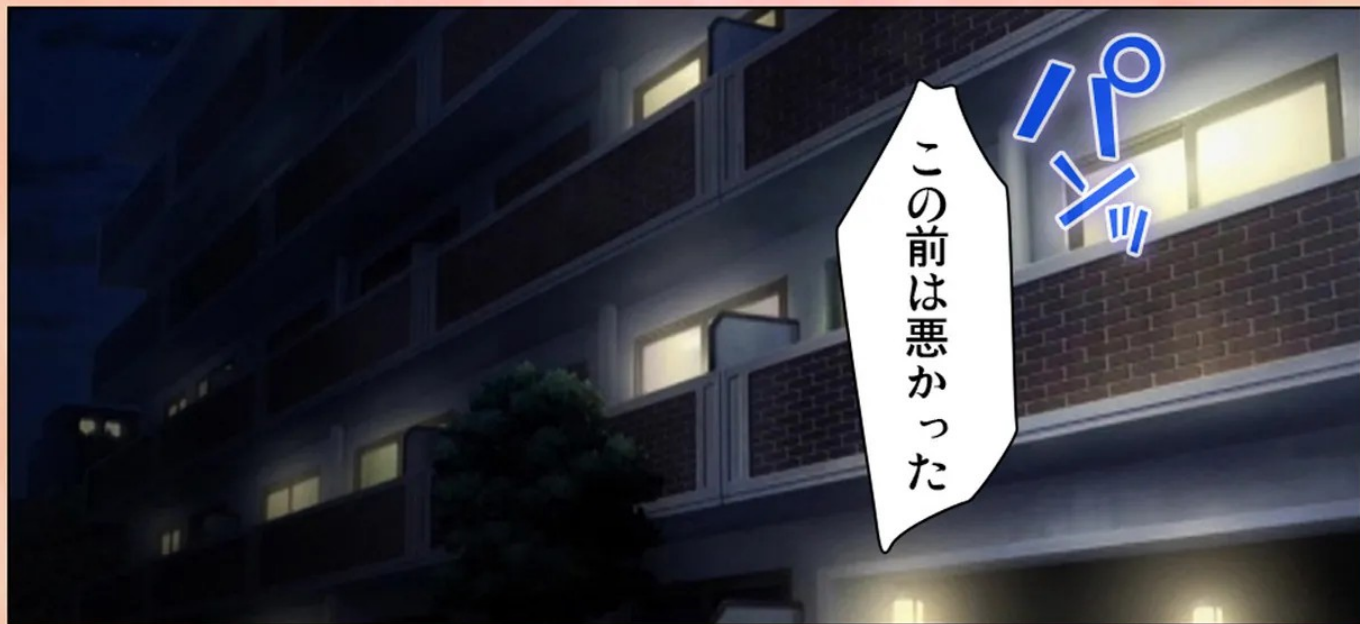
カッ！  
ツ



やだ  
カレシの趣味？  
カッ  
コイイ







この前は悪かった

パッ



反省してます  
マジで



ずっとさやかに  
押しつけて  
ばっかで…



もういいわ











あっ…ちょっと  
大学の時の  
知り合いからの  
メールで驚いちゃった



スッ



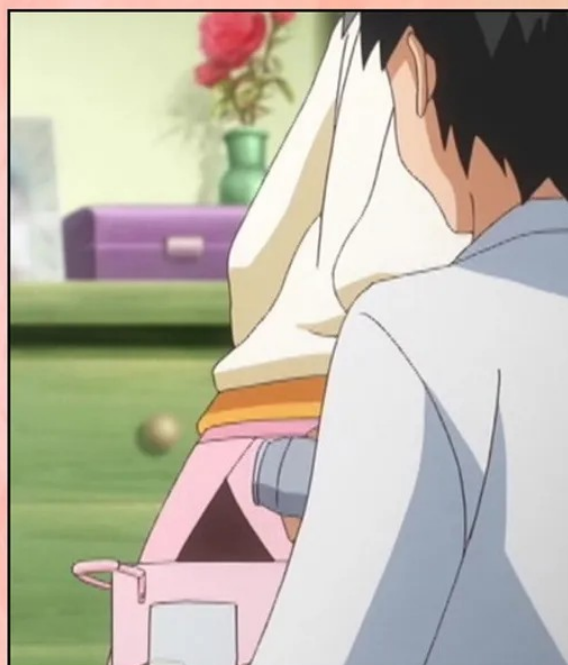
俺も知ってる人？

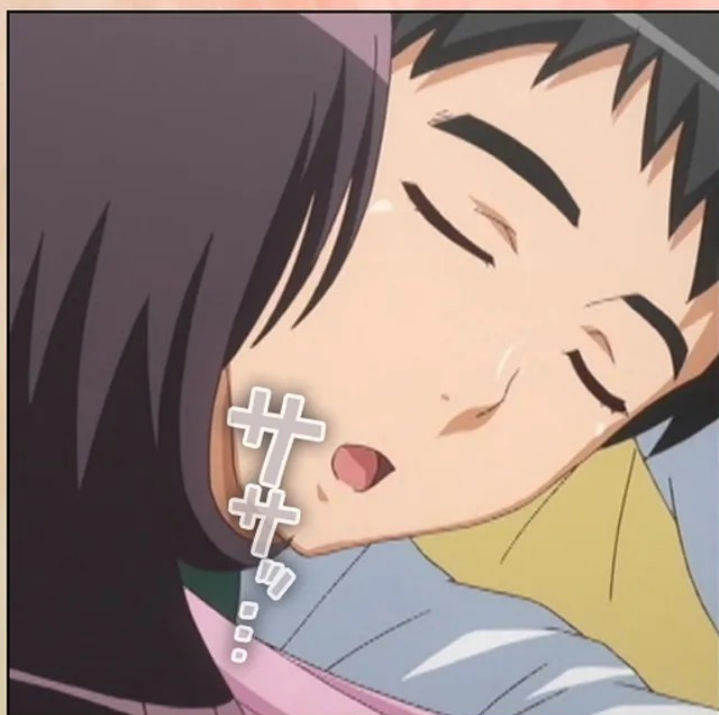


あ！



ううん…  
ゼミの知り合い









第一：  
こんな場所で

あんな：  
脅迫めいたメールで  
呼び出して：  
どういうこと  
なんですか先輩っ！



あれ？  
浅尾とはあまり  
来ないの？



要件をさっさと  
済ませてください

まあ…そんなに  
怒らないでよ  
工藤さん



写真よく撮れてたろ？





…んんん…  
…んんん…



な…なにを  
するんですかっ!



君のことは  
大学時代から  
気になってたんだ

え…?







浅尾との結婚を  
邪魔する気はないよ

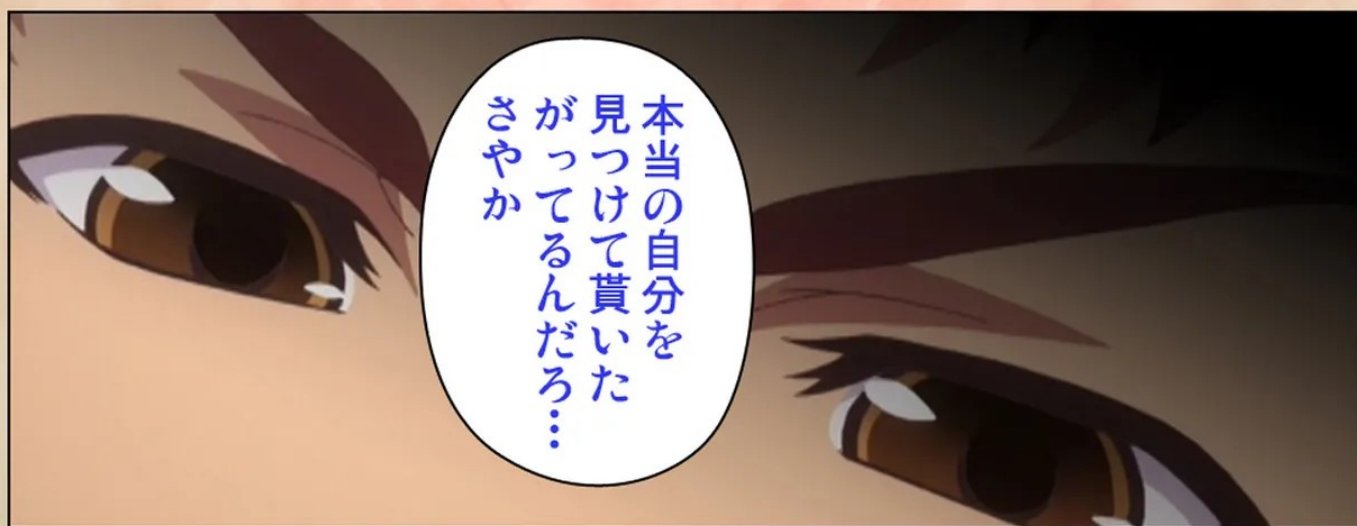
ただ君が  
無理してるのは  
見捨てておけない

あっ……あっ……  
無理なんて……  
してません……



あッあッ

バツッ



本当の自分を  
見つけて貰いた  
がってるんだろ……  
さやか



おっおっおっ……おっおっおっ……!



クワッ



全部曝け出すとい

レレレ



おっおっおっ……おっおっおっ……

ガ  
ガ  
ゴ  
ゴ



あっ...あっ...あっ...あっ...あっ...

グワッ  
グワッ  
グワッ



だっ...だっ...だっ...  
だっ...だっ...

あ  
あ



ひゃあっ!

あ  
あ  
あ





一度火がついたら  
収まらないカラダだな  
さやか



いっ...いっ...いっ...  
勝手に...呼び捨てに  
しないで...ぶえ



あめあめあめあめ!  
うううう...はあああ...!!

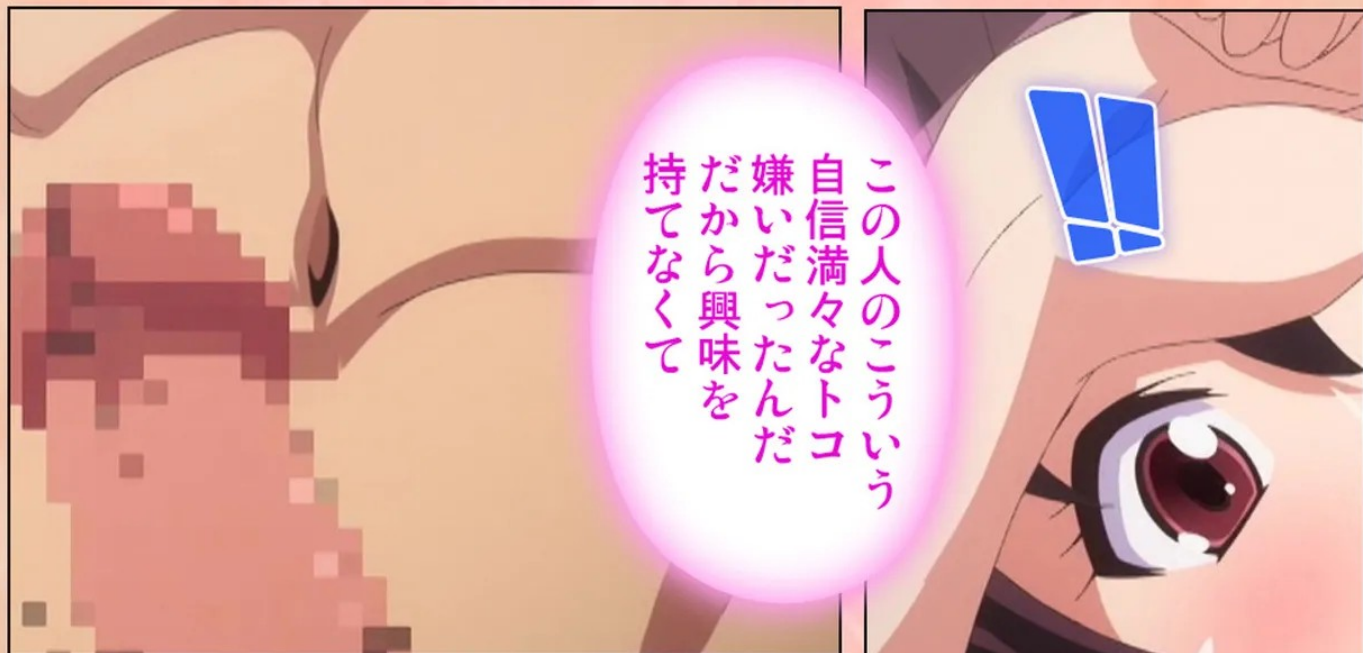




だんだん  
思い出してきた



すごい声だったな  
浅尾にはキモチよく  
してもらってないのか





あ  
あ

今だったら  
自信满满的なトコも  
受け入れられそう

ズキョッ  
ズキョッ



だってこんな  
立派なものを  
持ってるのよ  
仕方ない

ズキョッ  
ズキョッ



!?

なに考えてるのよ…  
わたし!

あ  
あ





やっぱり…凄い…  
前は酔ってて  
はっきりわからな  
かったけど…

イッ  
イッ  
イッ



雅晴のど…  
なにもかもが違っ…

ユサ  
ユサ

ユサ  
ユサ



ゴム着けてない？

あんっ



締めつけておいて  
文句を言うな



ああ…やだっ…  
こんなのっ…



あんな

きゅん…きゅん



ユサユサ



フッ  
ホッ



あぁっ……あん……  
ああん

あんっ



ん……あぁっ……

ズッ  
ズッ!

ガッ  
ッ





他の男を  
知っておいた方が…  
浅尾の良さだって  
もっとよくわかるぞ

そんなことっ…  
あぁ…んあっ…



ふあっ…そんな  
あぁあぁ…

ズユ  
ホッ



わたしは雅晴が  
いてくれれば…  
それで…

ズホッ  
ズホッ





わたし…  
わたし？！

グググ  
グググ



ロメンなわい雅晴…

グググ  
グググ



あんっ

あんっ…あんっ…  
あ…あ…

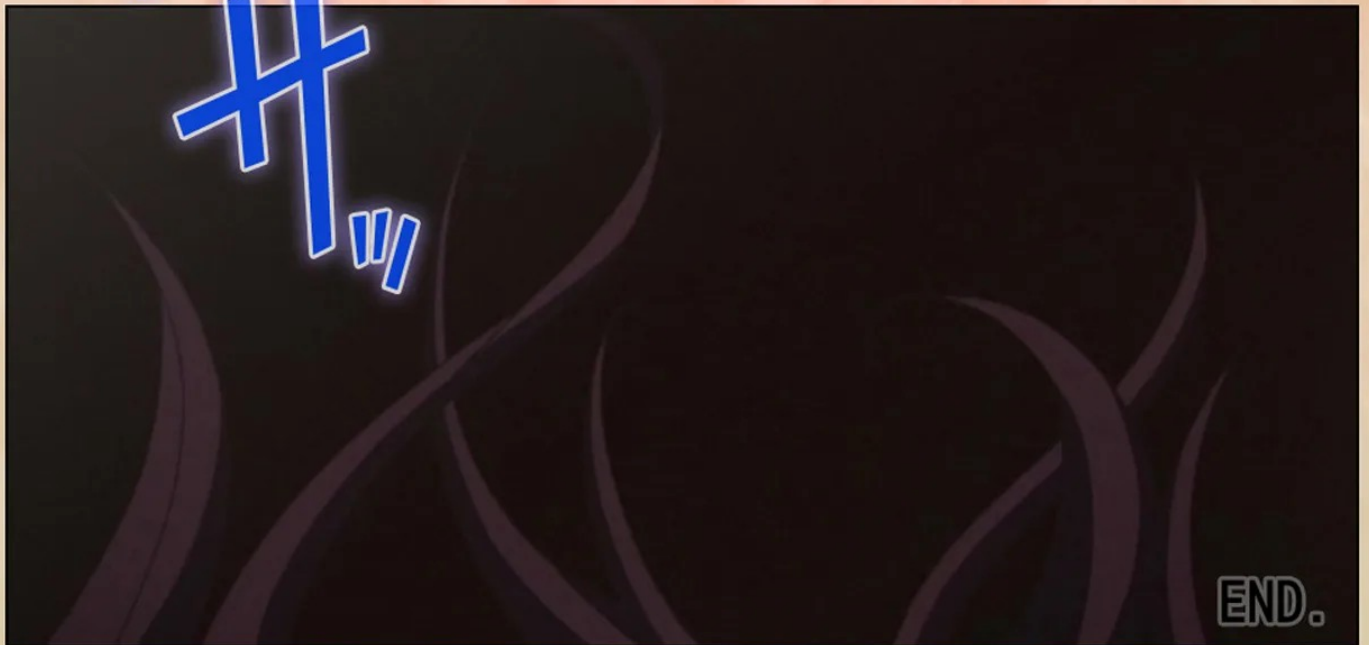
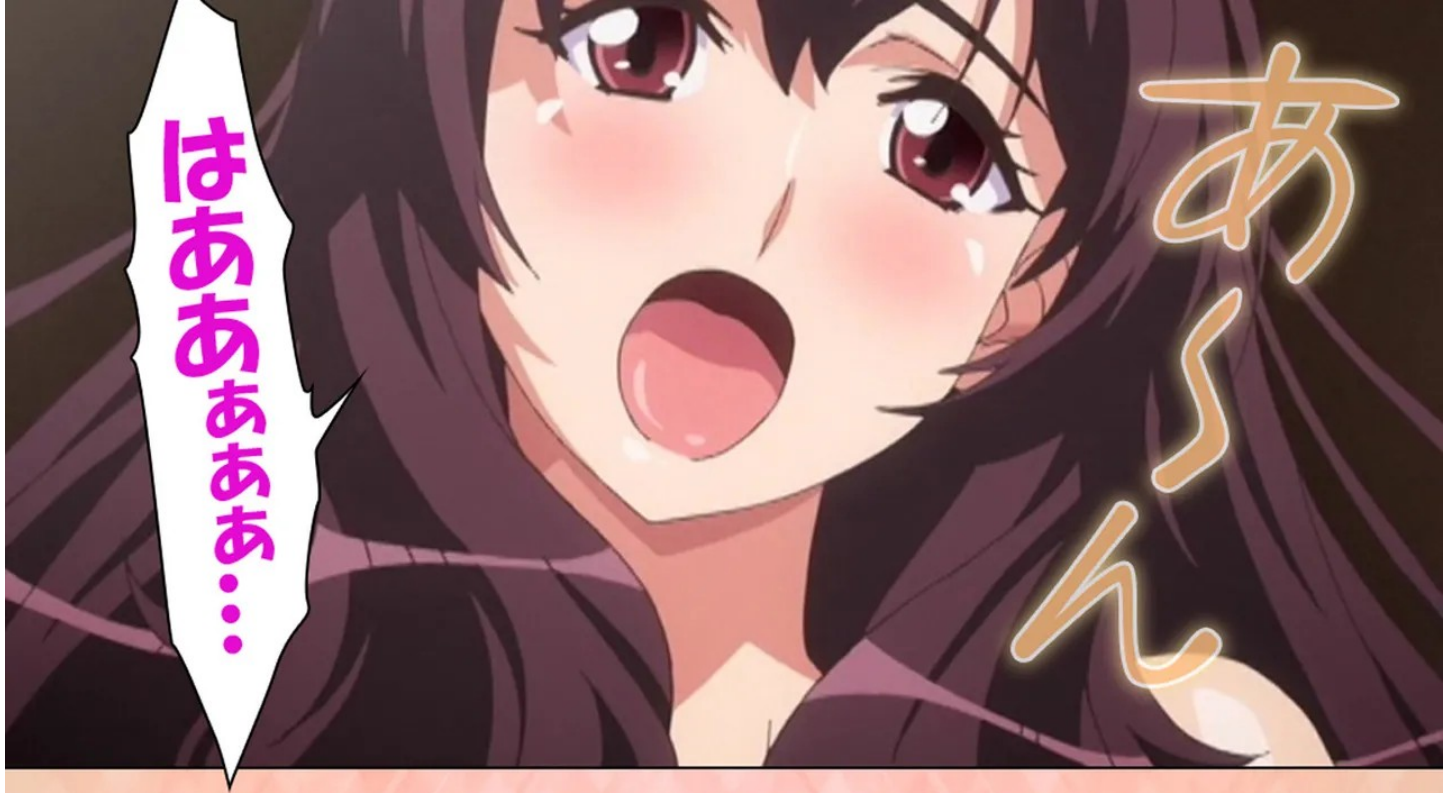
アッ  
アッ  
アッ



ちゅぽ  
ちゅぽ







【フルカラー成人版】  
マリッジブルー  
第二巻

発行所 ルネコミック  
©ルネコミック



工藤さやか



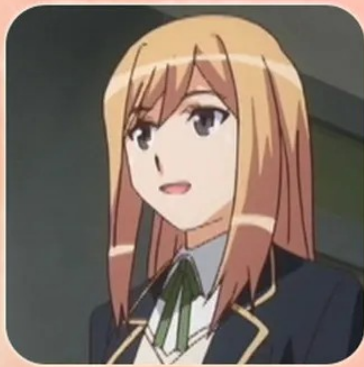
浅尾雅晴



金子隆次



浅尾美里



女子生徒



フルカラー成人版

# マリンズブルーム

## 第二巻

著者 ルネコミック  
出版社 ルネコミック